

# 阪神高速事業アドバイザー会議 〔第11回〕

## 「2021年度の事業実施状況・トピックス」

2021年11月2日  
阪神高速道路株式会社

# 目 次

1. ネットワーク整備の状況	.....	3
2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況	.....	6
3. お客さま満足向上施策の実施状況	.....	14
4. ETC専用化の推進	.....	18
5. 関連事業のトピックス	.....	19
6. DX戦略	.....	21

# 1. ネットワーク整備の状況

- 2020年1月に信濃橋渡り線、2020年3月に大和川線を開通。
- 現在、淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部を整備中。



※淀川左岸線延伸部の延長は、西日本高速道路(株)の単独施行区間1.1kmは除いたもの

# 1. ネットワーク整備の状況

## 淀川左岸線(2期)

■大阪市より受託している海老江地区及び豊崎地区の工事(開削トンネル・橋梁・換気所)で、本体工事着手に向けた橋脚基礎工、地盤改良工及び土留壁工等を実施中。

## 淀川左岸線延伸部

■トンネル及びシールド立坑等の設計検討、堤防・道路一体構造の安全性等の検討を実施中。また、本体工事着手に向けて、地中障害物撤去工事等を実施中。



開削トンネル地盤改良工の実施状況



橋脚基礎工の実施状況



換気所土留壁工の実施状況



地中障害物撤去準備工の実施状況



# 1. ネットワーク整備の状況

## 大阪湾岸道路西伸部

■有識者委員会において海上長大橋の橋梁形式が選定され、2019年12月に公表。長大橋の基礎構造をはじめ、上部構造に対する耐震、耐風、景観等の観点において、様々な課題に対し引き続き検討を実施中。

■当社事業区間での工事の状況

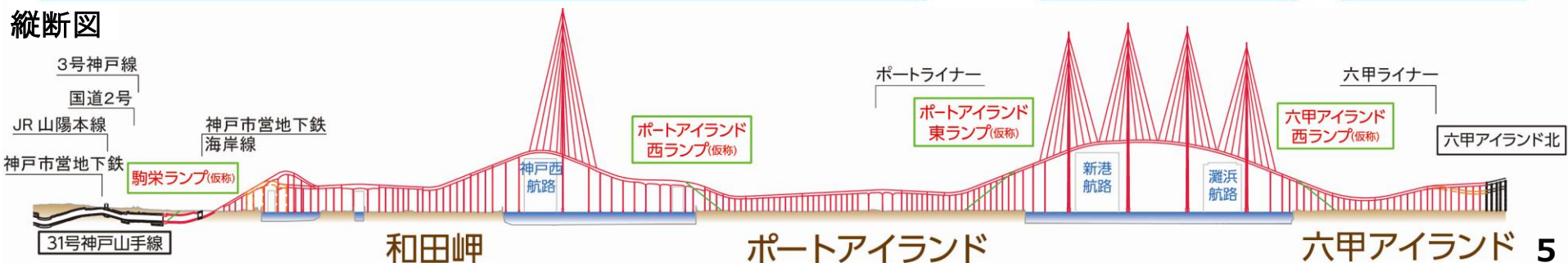
- ・六甲アイランド地区：橋梁上部工事を2021年3月に契約、現在詳細設計を実施中。  
橋梁下部工事を2021年8月に契約、現場着手に向け調整中。
- ・駒栄地区：開削トンネル工事において掘削工を実施中。



掘削工の実施状況



### 縦断図



## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

- 阪神高速道路を100年先も安全・安心・快適にご利用いただくため、2015年度より構造物の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)」を推進。
- 大規模更新事業6箇所のうち、3号神戸線湊川付近及び15号堺線湊町付近の2箇所で工事に着手。
- 過去の車線拡幅工事で設置した縦目地(継ぎ目)が原因で損傷及び異常音が生じている16号大阪港線(西行)阿波座付近において、縦目地を撤去する大規模修繕工事に着手。
- 14号松原線喜連瓜破付近は、橋梁架替工事に着に向けた準備及び交通マネジメントの検討を実施中。

### 事業箇所と主な進捗状況

#### 3号神戸線 湊川 (1968年開通)



- 耐久性の向上及び最新の耐震基準への適合のため、既設橋脚間に新たな橋脚を7基設置する工事を2020年11月より着手。

#### 15号堺線 湊町 (1972年開通)



- 2021年3月より先行施工分(全9基の鋼製基礎うちの1基を対象)の施工に先立ち、地下埋設物の移設に着手。
- 2021年5月より、先行施工分について本格着手。

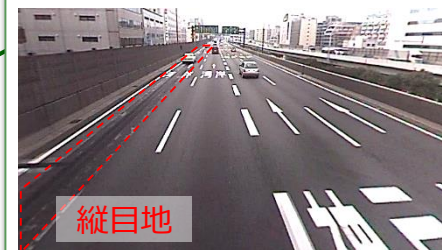
#### 14号松原線 喜連瓜破 (1980年開通)



- 橋梁全体を架け替える事業の実施に向けて、既設橋梁の撤去・再構築の工事着に向けた準備及び交通マネジメントの検討を実施中。



#### 16号大阪港線 阿波座 (1997年車線拡幅)



- 縦目地構造を解消し、安全性の向上、騒音の低減を図るため、2020年12月より中央大通(なにわ筋~あみだ池筋間)にて、車線規制を伴う工事を開始。

## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

### 大規模更新工事(喜連瓜破付近) ～工事の目的～

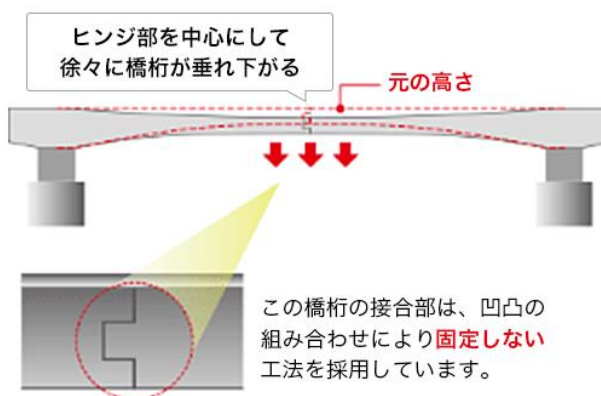
1980年 開通

構造力学的に合理性が高い設計として一般的だった構造を採用。



1985年頃～

年月の経過に伴い橋梁の中央部が徐々に垂れ下がり、想定を超えて路面が沈下。段差解消のため舗装補修・経過観測等を実施。



橋桁の中央付近が設計時の想定よりも大きく沈下

2003年

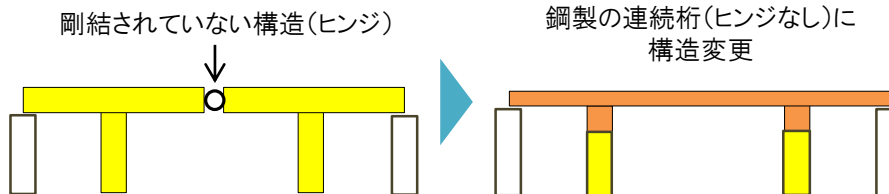
経年的な沈下を改善するため外ケーブルによる補強を実施。



ケーブルで左右から引き上げて中央を持ち上げる対策を実施。

2013年～2015年

阪神高速道路を長期にわたり安全、安心、快適に活用して行くため、橋梁の架け替え事業が決定。



架け替え工事を実施予定

## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

### 大規模更新工事(喜連瓜破付近) ～施工検討の状況～

- 喜連瓜破橋は、供用から約40年経過した中央にヒンジ部があるラーメン箱桁橋。
- 中央のヒンジ部を中心に設計当初に想定された以上の垂れ下がりが進行。
- これまで各種対策工事を行うとともに、経過観測を実施。抜本的な対策には至っていない。
- 今後も垂れ下がりによる路面の段差が生じる恐れがあるため、架け替えを実施予定。
- 大和川線の全線開通によりネットワーク網が整備され、広域迂回が可能な環境が整備。



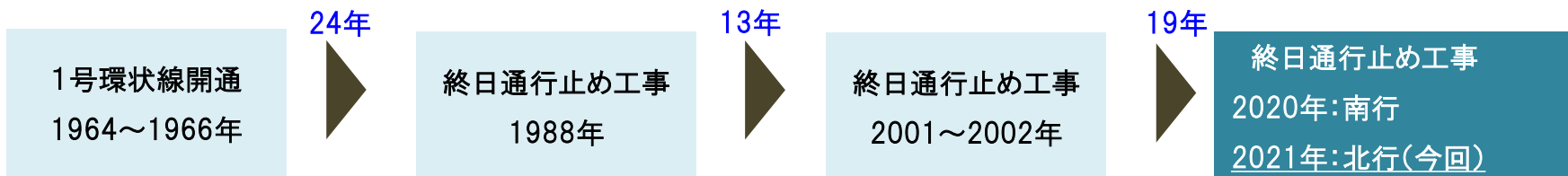
- 当該事業箇所は、密集市街地であり、橋梁の架け替えを行う場合、交通規制に伴う渋滞など沿道・近隣に多大な影響が生じることが予想される。
- 影響を最小限にとどめる施工方法と、それに伴う交通マネジメントの検討が必要であり、『阪神高速14号松原線大規模更新工事(喜連瓜破付近橋梁架替え工事)に関する実施検討会』を設立。
- 中間とりまとめにおいて、通行止め案が優位であることが示され、準備を開始。
- 施工時の大規模な交通規制により、渋滞の延伸など一定程度の交通影響が発生することが予想されるため、交通影響を抑制するための対策など、お客さまの利用状況を踏まえた詳細な検討を継続して実施中。



## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

### 1号環状線リニューアル工事 ～工事の目的～

- 1号環状線の1日のご利用台数は約25万台で、供用から50年以上が経過し、コンクリート床版(道路の床面)などで損傷が進行。
- 過去に2回の終日通行止め工事を実施。前回の工事から20年近くが経過し、舗装や道路の継ぎ目などの損傷が顕在化。
- 安全・安心・快適を未来につなげるため、舗装や伸縮継手の補修工事による安全性・走行性の向上や、リニューアルプロジェクトによる構造物の長寿命化を実現するべく、1号環状線リニューアル工事を実施。



南行：6日間  
北行：5日間

南行：8日間  
北行：7日間



2002年の終日通行止め工事の様子



舗装の損傷



コンクリート床版の損傷

# 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

## 1号環状線リニューアル工事 ～工事計画概要～

○工事は、交通影響を踏まえ、北行き、南行きの2分割で実施するものとして、2020年11月に南行を実施、2021年度は北行を実施予定。



(位置図)



(環状線拡大図)

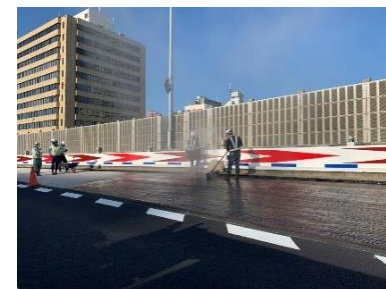
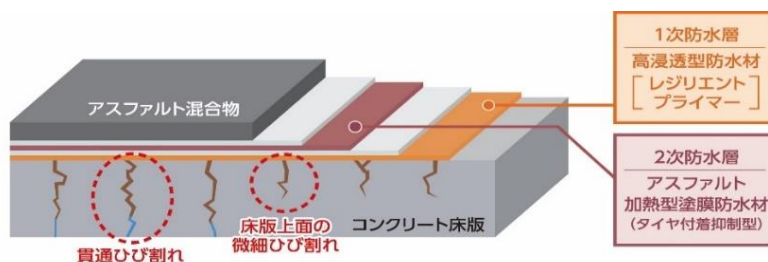
年度	2021年度(今回)	2020年度(施工済)
路線	1号環状線北行	1号環状線南行
実施時期	2021年11月16日～26日 (10日間)	2020年11月10日～26日 【完了】
影響見込台数	約12万台/日	約16万台/日
主な工事内容	舗装補修、伸縮継手補修、 高性能防水など	舗装補修、伸縮継手補修、 高性能防水、RC床版取替など
前回実施年度	2002年	2001年

# 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

## 1号環状線(北行き)リニューアル工事 ～工事内容～

- 経年劣化などによる舗装や伸縮継手の損傷を補修し、安全性・走行性の向上、沿道環境の改善を図る。
- さらに、コンクリート床版の長寿命化に向けた高性能床版防水、わかりやすい道路案内の実現に向けた案内標識のレイアウト改善や路面カラー設置など、より走りやすい道路になるようサービス向上施策を実施。

### 2021年度1号環状線(北行き) 主な工事内容



構造物の長寿命化に向けた高性能床版防水の実施



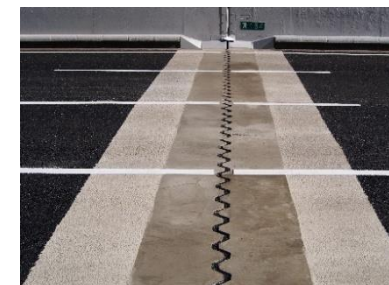
舗装の劣化・損傷



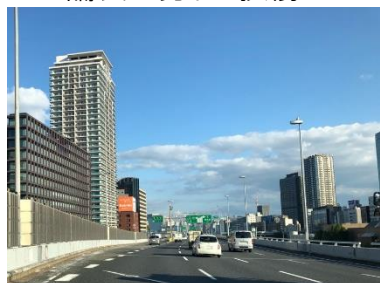
舗装の全面的な打ち換え



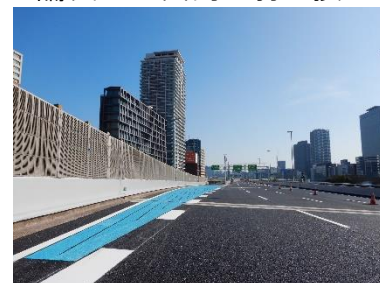
鋼製伸縮継手の損傷



新しい伸縮継手への取り替え



誤退出防止に向けた出口部への路面カラーの設置



視覚的に分かりやすい案内標識への取り替え



## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

### 1号環状線(北行き)リニューアル工事 ～誤退出対策(路面カラー)へのお客さまの評価～

- 昨年度、1号環状線(南行き)の誤退出対策(出口案内標識の青色矢印と出口車線の路面カラー設置)についてアンケートを実施したところ、**約7割**が出口への分岐がわかりやすくなったと回答。
- 1号環状線(北行き)においても誤退出対策を実施。

(対策前)

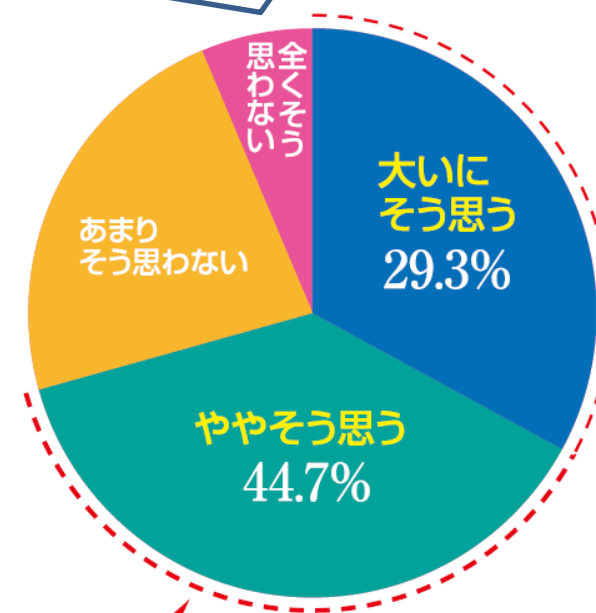


(対策後)



工事後のお客さまアンケート結果

路面カラーによって  
間違っ分岐しにくくなったと思いますか？



**74%** 路面カラーにより  
出口への分岐が  
わかりやすくなった

# 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

## 1号環状線(北行き)リニューアル工事 ~昨年度からの広報の強化~

### <特設サイトとカーナビアプリとの連携>

○1号環状線(南行き)リニューアル工事の広報アンケートでは、特設サイトについて**7割以上**が満足と回答  
 (「期待していた以上の情報が得られた」+「期待していた情報が得られた」)。

○また、**9割以上**が専用の無料カーナビがあれば利用すると回答。

○これを踏まえ、1号環状線(北行き)リニューアル工事においても**特設サイトの開設を継続**するとともに、専用の経路検索サービスに加え、当日のリアルタイム交通状況を考慮した「**カーナビアプリとの連携サービス(※)**」を**今回新たに導入**し、円滑なご利用をサポート。  
 ※通行止め期間中に対応。「ドライブサポーター」アプリをダウンロードしていただく必要があります。

### 事前の移動計画支援: 出発時刻等の見直し

### 当日の移動支援: カーナビアプリによる案内



事前検索で出発時刻・交通手段を見直し

**所要時間**

自動車 (通行止期間中)	自動車 (平常時)	電車
41分 (平常時より約+16分) 高速利用なし 15.3km	25分 高速利用あり 15.3km	32分 乗換1回

**時間帯別比較**

2時間前 6:00	1時間前 7:00	指定時刻 8:00発
36分 -5分	40分 -1分	41分

リアルタイム交通状況を考慮した経路で、規制区間・渋滞をう回した走行を音声ナビゲート



本サービスは、株式会社ナビタイムジャパンと共同で提供

### <工事直前広報の充実>

○同アンケートでは、**直前の再周知**について**約7割**が希望すると回答(2日前~当日の再周知)。

○これを踏まえ、環状線(北行き)リニューアル工事の広報では、**直前の広報を手厚く**するよう改善。

- ・テレビCM、ラジオCM … 新たに**前日用のCM**を作成。
- ・直近3日のCM本数

テレビCM (南行き)51本 → (北行き※予定)60本  
 ラジオCM (南行き)74本 → (北行き※予定)175本



(ナレーション)  
 阪神高速1号環状線  
 湊町入口から梅田出口間で  
**明日、16日から**  
**終日通行止め**工事が  
**始まります。**

### 3. お客様満足向上施策の実施状況

#### お客様満足アッププラン〔2021〕の策定・実施(2017年度より毎年度策定・実施)



2021年4月27日 HPで公表

阪神高速グループは、『先進の道路サービスへ』をグループ理念として、安全・安心・快適な道路ネットワークを通じて、お客様満足の実現に、日々取り組んでいます。

新型コロナウイルスへの対応や頻発する気象災害、地震など日々変化する状況の中で、道路をご利用のお客様に、もっと安全・安心・快適を実感していただき、ずっと使い続けていただける阪神高速であるため、小さなことからコツコツと取り組みを積み重ねています。

そんな取り組みを知っていただくため、2021年度注目の取り組みをまとめてご紹介します。今後も、お客様の声に耳を傾けながら、ますますのお客様満足向上に努めてまいります。

#### 2021年度 注目の取り組み

もっと走りやすく！

もっとわかりやすく！

もっとほっとしたい！

もっとはやく！

もっと知りたい！

こんなこともやっています！

昨年の満足アッププランは？

# 3. お客様満足向上施策の実施状況

## もっとわかりやすく！

### ○新交通管制システムの運用開始

#### ■2021年4月より情報提供を開始

##### 【事故リスク情報】

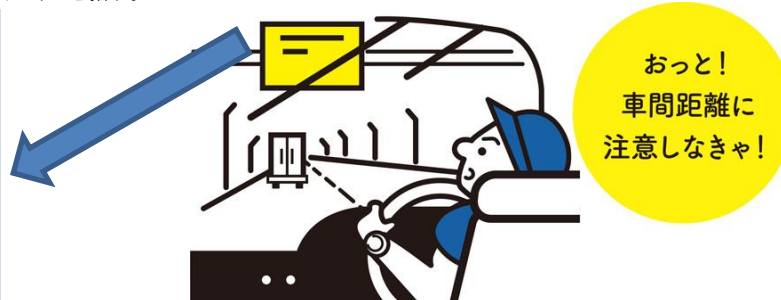
“事故リスク”情報で、お客様の安全運転をサポート！

雨天時や渋滞時など、事故が起こりやすい状況をリアルタイムで判断し、「事故を起こさないためのアドバイス情報」を提供。お客様が**現在走行中の区間にピンポイントで情報提供**し、お客様の安全運転をサポート。

※事故リスク：過去のデータに基づいて判断した、その時・その場所における事故の起こりやすさを指す。

事故リスク情報表示例

- 事故多発区間 前方注意
- 事故多発区間 車間保て
- 事故多発区間 速度落せ

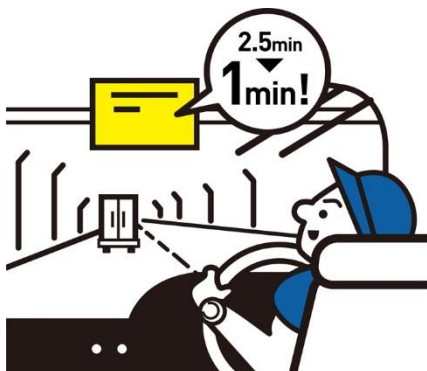


##### 【情報更新スピードアップ】

情報更新のスピードをアップ！速報性を高め、お客様の快適な運転をサポート。

情報更新頻度を**2.5分から1分に短縮**し、急変する道路情報をより正確に、いち早くお届けできるように改良。

まさに今延伸している渋滞や、発生直後の障害の回避に役立つ即時性の高い情報で、最適なルート選択に寄与。



時刻	旧システム提供情報	急激な渋滞延伸の情報提供に対応	新システム提供情報
	5分間集計データ・2.5分情報更新		5分間集計データ・1分情報更新
15:06			
15:07			
15:08	この先 事故 注意	急激な渋滞延伸の情報提供に対応	この先 事故 注意
15:09			
15:10			
15:11			摩耶 事故渋滞 1km
15:12	摩耶 事故渋滞 1km	2.5分	摩耶 事故渋滞 2km
15:13			
15:14	摩耶 事故渋滞 2km	2.5分	摩耶 生田川 事故渋滞 2km
15:15			
15:16	摩耶 生田川 事故渋滞 2km	2.5分	摩耶 生田川 事故渋滞 3km
15:17			
15:18			
15:19			
15:20			

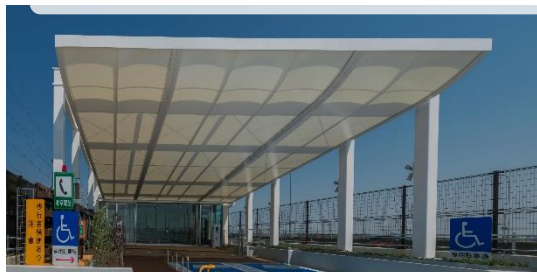
# 3. お客さま満足向上施策の実施状況

## もっとほっとしたい！

### ○新PAの整備

#### ■ 高石パーキングエリア[北行]を2021年3月オープン

開放的で自然素材に囲まれたリラックスできるPAとして整備。

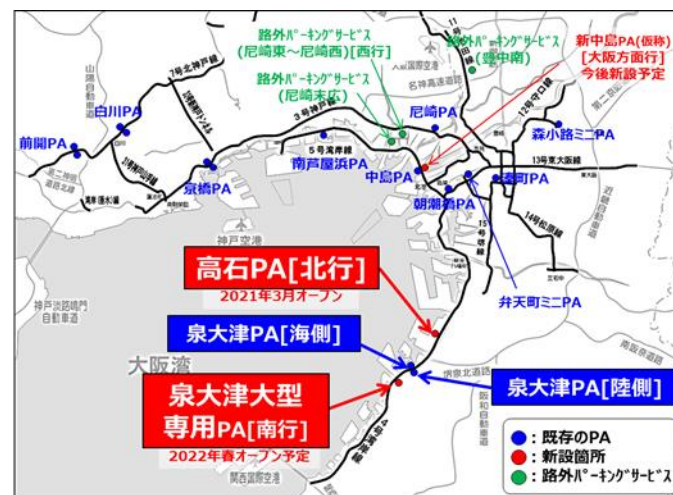


オープン後PA立寄率：泉大津PA[海側]4.7% 高石PA[北行] 1.8%  
前年同時期の泉大津PA[海側]5.1%を分担するとともに**利用率向上**

引き続き、泉大津本線料金所を撤去し、泉大津**大型専用PA[南行]**を整備。

木のぬくもりを感じられる木質内装を予定。

泉大津PA[陸側]における大型車駐車枠の不足に対応。



## もっとはやく！

### ○小型レッカー車の配備

2019年から**阪神高速専属のレッカー車部隊**を大阪と神戸に設置。

事故・故障現場への到着時間を短縮することで速やかに交通障害を解消し、渋滞時間の削減に寄与。

これまでそれぞれ大型のレッカー車1台ずつで運用していたところ、今年度内に新たに**機動性の高い小型のレッカー車を1台ずつ増配**し、更に迅速に事故処理を行います。



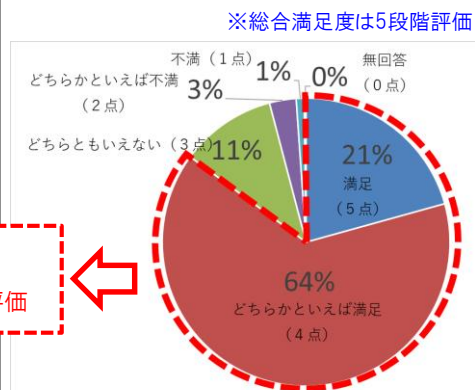
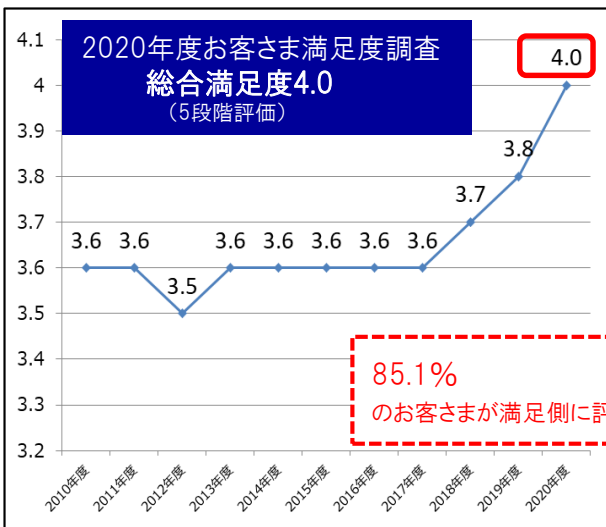


# 3. お客さま満足向上施策の実施状況

## お客さま満足度調査の実施

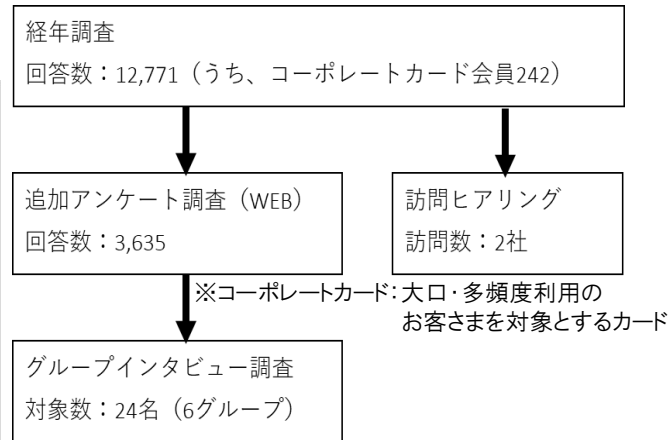
2006年度から毎年度実施、「総合的な満足度」のほか、「走りやすさ・安全性・快適性」「料金所・スタッフ対応」「料金・割引制度」「情報提供」「パーキングエリア」の5分野における個別項目に関する満足度及び重要度を調査。

2017年度からは、お客さまと直接対話し、生の声をお聴きする機会として、モニターインタビュー調査も実施。

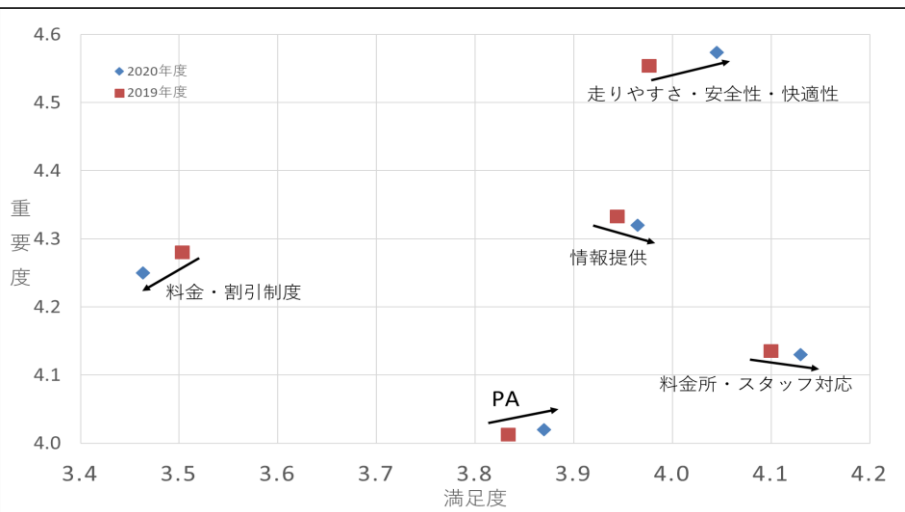


85.1%  
のお客さまが満足側に評価

## ■お客さま満足度調査(2020年度)体系図



## ■項目別満足度・重要度散布比較図(2019→2020)



## グループインタビューでのご意見の事例

### ○渋滞・工事などの情報発信について

- 渋滞情報や工事の事前広報は、パンフレットは見る人は見るが、普段乗らない人の目には留まりにくいので、阪神高速を走り慣れていない人向けに、多くの方が目にするテレビCM等による発信が重要と考えている。
- TwitterやYouTubeのライブカメラなどのリアルタイムで情報を入手できるツールの活用も重要である。

### ○OPAについて

- コンビニの導入は高評価であるが、24時間営業にも対応してほしいとの要望もある。
- 路外PAについては使用したい、充実してほしい(Ex.駐車できる時間を延ばしてほしいなど)との期待を寄せる声が多い。

# 4. ETC専用化の推進

## ○ETC専用化の導入目的

- ETCを活用することにより、
  - ・戦略的な料金体系の導入による混雑の緩和などお客さまの生産性及び利便性の向上
  - ・料金収受員の人員確保が困難な中での持続可能な料金所機能の維持
  - ・感染症リスクの軽減
 等に資することから、ETC専用化によるキャッシュレス化・タッチレス化を推進。

## ○ETC専用化等の進め方に係る基本的考え方

- 以下の基本的考え方を踏まえつつ、各高速道路会社の実情に応じて推進。
  - ・都市部は5年、地方部は10年程度での概成を目指して計画的に推進
  - ・ETC利用率・非ETC車の交通量・近隣ICでの代替性等を考慮し、一部料金所で試行的に開始し、運用状況等を踏まえながら、順次拡大
  - ・料金精算機が導入されている場合は、当面の間、料金精算機とETCを併用することも検討
  - ・実際の導入に当たっては、早期に周知・広報することにより、お客さまの混乱を回避

令和2年12月17日、国土交通省・高速道路会社6社 公表資料より

## ○公表ロードマップ

	料金所数 (※1)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	...	2030年度頃 (R12年度頃)
阪神高速	144	導入準備		5箇所程度 で導入	順次拡大(8割程度) (5→110箇所程度)			順次拡大 ⇒ 全線		

※1 令和2年12月1日現在の既存料金所のうちETC専用運用されていない課金料金所数

# 5. 関連事業のトピックス

- 高速道路事業で培った技術・ノウハウを活用した事業を展開。
- お客さまや社会のニーズをとらえながら、新たな事業を積極的に展開。

## <用地補償コンサルティング事業>

2020年4月～2025年3月

都市高速鉄道なにわ筋線用地取得支援事業を受注。  
(グループ会社)

〔業務内容〕 用地測量・補償額算定  
公共用地交渉・用地取得工程管理支援  
収用事務手続補助 等



出典：都市計画素案説明会(2019.3)資料

## <不動産事業>

2020年12月 「アップコート喜連東」(サービス付き高齢者向け住宅)  
賃貸開始(グループ会社)

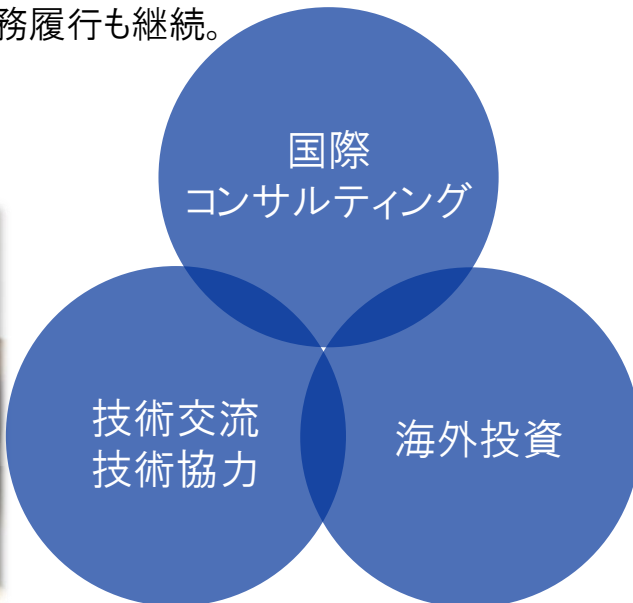


# 5. 関連事業のトピックス

## <国際事業>

- 2010年以降、累計30件のコンサルティング業務等を受注。
- コロナ禍において、2021年7月より業務履行に係る一部の渡航を実施(ケニア・モロッコ)。

- ・アジア・アフリカ地域を中心に、橋梁維持管理、交通システム、環境社会配慮等、国内で培ったノウハウを展開。国際協力機構(JICA)の発注するODA案件を中心に実績を重ねており、2020～21年度にかけては新たに4件の業務受注。
- ・渡航実施と併せ、オンラインでの業務履行も継続。



- ・国際協力の一環として、JICAを通じた長期専門家派遣を実施。
- ・オンラインによる研修、教材の企画検討を継続。

- ・日本高速道路インターナショナル(株)(高速5社の出資)を通じて海外インフラ投資に参画。
- ・コロナ禍においても根強い道路需要を背景に、日本のプレゼンス向上を目指す。

# 6. DX戦略

- データとデジタル技術の利活用を推進し、業務の生産性向上や高度化、そして企業理念「先進の道路サービスへ」を実現するため、2021年7月、『DX戦略』を策定し、全社横断的にDXを推進するべく、社長を本部長とする『DX戦略本部』を設置。
- DX戦略には5つの項目があり、「持続可能な環境と体制」と「データとデジタル技術の真価発揮」の部分を基礎として、「業務の生産性向上」と「業務の高度化」を通して、「先進の道路サービスへ」に向けた取組を行うことで、新たな価値の創造を実現。

